| 活 動 名 | 団体名 | こどもの広場実行委員会 |
| :---: | :---: | :---: |
|  | 地 域 | 広島県広島市 |
| こどもの広場 | 代表者 | 代表 遊井 勝美 |
|  | 支援金額 | 20万円 |
| 活動概要 |  |  |
| 実施時期 <br> H22．4．18～H23．3．24 <br> 古市公民館•大町児童館•安川緑道•大町集会所 <br> 参加人数 <br> 小学生 768名（幼児を含む） <br> 中学生 203名 <br> 大学生 11名 <br> 大人 437名 |  |  |

参加総人員1，419名


みんなで相談しながら作っていくって楽しいネ （積み木の教室）


意外に難しい しめ縄飾り 親子で頑張るぞ （しめ縄飾り教室）


夏祭りのメイン びっくり屋敷しかけ作りが大変 （夏祭り）


昔の人はこうして餅をついてたんだ！！
（餅つき大会）

## 実施に伴う効果

1．中学生の企画•運営する夏祭りに地域のものが参加する事により，中学生と地域がより身近な関係になった。
2．高齢者のために干支の折り紙の飾りをプレゼントして一緒に触れあった。涙して喜ばれた高齢者の方もいた。その後も大切に家に飾られている。
3．中学生が参加することにより，地域のまちづくり事業が活発になった。

- 苦労した点
- 大人の地域性
- 中学生の企画運営する事業は，学校の行事やクラブ活動との調整を行いながらの活動なのでなか なか思うように準備が出来ない。
－上記の理由でPR活動も十分にできなかった。


## 今後の課題•発展の方向性

－中学校は二つの地域を含む。今までに一緒に事業を行う事が少なかった。地域性もあり大人のつ ながりを作る事はまだまだといえる。今後の課題である。
－中学生の持っているものをいかに引き出し，自信を持たせるか，また，どのように地域で育ててい くかが課題である。
－子どもも大人も一緒に楽しめるものを今後取り組んでいきたいと思います。仲良くなる，声を掛 け合う事が出来るようになる事で，色々な効果が生まれ，町が生き活きとしてくると思われます。

## －活動を終えての感想•意見等

－3年間，支援をいただきありがとうございました。今後は地域にある団体と協力し，一緒に子ども たちを育てていこうと思います。
－貴社の益々のご発展をお祈りします。今後機会がありましたらまた，よろしくお願いいたします。

